ラインナップ更に充実

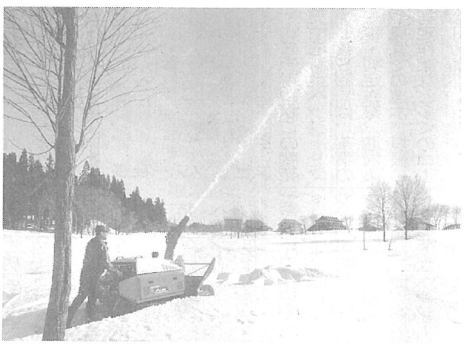
「ミラクルオーガ」を搭載

フジイ SQシリーズの新型除雪機

藤井社長

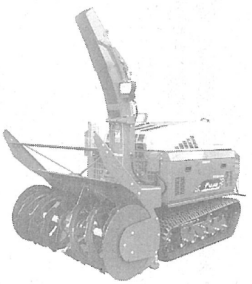
フジイコーポレーション（藤井大介社長）は、3月18日「フジイスノーロタリー信越販売店会議」をあてま高原リゾートベルナティオで開催。SQシリーズの新型除雪機「SQ1243DK－z」（43馬力）「同1231DK－z」（31馬力）の発表と実演が行われた。また、年度改良機種や今夏発売のAI搭載除雪機（本紙既報）についても紹介された。

フジイコーポレーション＝新潟県燕市小池285＝は、昨年に続いて信越地区の代理店・販売店を対象とした販売店会議を新潟県十日町市の「あてま高原リゾートベルナティオ」で開催。31社38名が参加した。



販売店会議での実演の様子

会議では、冒頭、吉井吉次取締役機械事業長兼営業部長が挨拶に立ち「今シーズンは、昨年2月の北陸地区の豪雪で過去例のない需要が生まれたこともあり、前半から品薄の状態が続いた。前年と比べ当社の実績は特に得意の大型で大きく伸ばした」と総括。来シーズンの方針として①販売店と一体となった営業と情報の共有②強みを強化したシリーズ化③消費税UPの前倒し需要の対応④安全啓蒙活動⑤予約率のUP、が示された。



「SQ1243DK－z」

続いて、小林祐介営業部次長が2019年度の除雪機シリーズ紹介。昨年まで販売していた大型ディーゼル除雪機「SFタイプ」が排ガス規制対応のため廃止となり「SQタイプ」に完全移行すること。「SQタイプ」に新製品（2型式）の投入。SDタイプの年度改良（マイナーチェンジ）、今夏にAI搭載除雪機を発売すること等が発表された。SQタイプは全部で4型式となり「30馬力以上が4型式揃えているのは弊社のみ。他社にないラインナップ」と小林次長。

【SQ1243DK－z／同1231DK－zの特長】▽ロックオンPlus＝従来の投雪方向に加え、投雪距離の自動制御をプラス。一定の範囲に雪をまとめて飛ばしたい時に便利▽スノーマチックPlus＝オーガの傾きを感知し、前後・左右の水平を自動制御。オーガと路面の接触による衝撃を防ぐのでシャーボルトが折れにくくなる▽ミラクルオーガ＝オーガ部分への雪の滞留を低減し、除雪作業を効率化（雪質等により実際の効果は異なる）▽エンジンビューワー＝エンジンの状態を常に確認できる専用ビューワーを装備。1008項目の不具合簡易診断も可能。『サービスリマインダー』機能により、任意の設定時間でオイル等5項目の交換時期を知らせる▽LEDモニタパネル＝クラッチの『入』『切』や、ブロワブレーキ等の安全装置の動作状況がひと目でわかる新型LEDモニタパネルを装備。燃料計やアワーメータ、DPFマフラの再生状況等もわかりやすく表示▽シャーボルト＝独自構造のオーガフランジにより、交換時における異物の侵入を防止し、密着性を高め、シャーボルトの交換頻度を大幅に低減。

【仕様諸元（SQ1243DK－z／同1231DK－z）】▽全長×全幅×全高＝2720×1210×2010㎜▽全重量＝1215／1180㎏▽除雪幅＝1200㎜▽除雪高＝700㎜▽最大出力＝31・5㎾（42・8ps）／22・5㎾（30・5ps）▽走行装置＝HST無段変速▽サイドクラッチ＝湿式多板ブレーキ▽リフト＝油圧（スノーマチックPlus）（バックオートリフト）▽ローリング＝油圧（スノーマチックPlus）▽シューター調整＝電動（ロックオンPlus）▽希望小売価格＝425万円／368万円（税別）。

◇

なお、SDタイプのマイナーチェンジは、以下の通り。①SD新型モニタパネル②シュータデフレタモータグレードUP③車速変更＝前進：3→3.4㎞／h④シャーボルト緩み防止と折損頻度低減⑤足元ライトLED化⑥走行ベルト交換の容易化⑦トラニオンのガタツキ防止⑧ボルトテンションの脱着の容易化⑨オーガローリングシリンダのピン破損防止⑩ファンカバーの脱着を容易化⑪排気パイプの前面カバー。

※AI搭載除雪機については、弊紙3月11日号既報